

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2018年11月25日号



国保黒字37億円は被保険者に還元を

元々、原資は被保険者の保険料

市の国民健康保険会計は54億円の黒字ですが、そのうち国からの「もらい過ぎ」分17億円を返した残り37億円について、市は、国保と一般会計の各基金に、半分づつ積み立てようとしています。市長が議会に提案しています。しかし、少なくとも一般会計の基金への積み立ては、一般会計の「財政危機」を保険料で補填しようとするもので、そもそもスジの違う話です。被保険者に還元すべきものです。国保は特別会計で、一方、一般会計の「財政危機」は市長の責任ですから、被保険者にとっては何の関係もありません。元々、黒字分の原資は保険料ですし、税金の二重取りにも等しいものです。「黒字が出た場合、一般会計から国保への繰入金との減と保険料軽減」という、半分づつ充てられるという、市自身の従来の方針をも、踏みこむものではないかと、日本共産党は、このほど、保険料の、均等

歳末生活資金貸付のお知らせ

- ◎ 申し込み：12月10日（月）～13日（木）
9時～11時半、1時～3時
（於）区役所東館ヘルスパia1階
- ◎ 貸付は25日（火）
- ◎ 一人3万円目安、一世帯15万円まで。担保・保証人不要、無利子、返済は2年以内。生活保護を受けておられる世帯は借りられません。
- ◎ 世帯全員の健康保険証など、住所・家族構成等がわかるもの、ミトメ印を持って来て下さい。
- ※ 共産党は、いつでも借りられるよう貸出期間の通年化を求めています。



市長が高さ規制の緩和を打ち出す 市自身の「景観行政」を踏みこむ

15日、市長が、ビルの高さ規制を緩和する、との方針を打ち出しました。「景観行政」を踏みこむもので、市自身の根本的方針転換となるものです。大手開発業者等に、京都の「空間」を差し出さずとするもので、景観は勿論、固定資産税や家賃の値上げも危惧され

割と世帯割を廃止、そのために、全国知事会（各都道府県の知事で構成している組織）も要求

している「1兆円の国財政の投入」を、と呼びかける「政策」を発表しました。保険料計算の方法や問題点を紹介している井上けんじ議員作成の「国保冊子」も合わせて、ご希望の方は井上議員迄、お届けします。

京まちシンポ開催

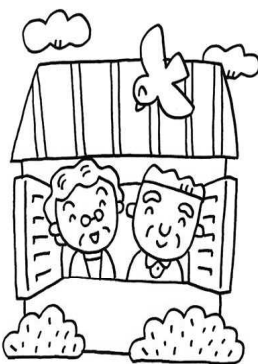
18日、住環境と京都のまちを守ろうと、シンポジウムが開かれ、民泊やホテルラッシュの京都でいいのかどうか、話し合いました（左上写真）。

ある日の民泊交渉

事業者と住民の皆さんの話し合いの「コマ」ズサンな実態の一端。
 ● 住民「あなたは誰？」
 ○ 事業者側「代理人。オーナーや管理者の出席は？」
 ○ 私が代理人です。
 ▽ 井上議員「小規模でいくのか？」
 ○ それは何ですか
 ▽ 代理人なのに不勉強すぎる。



子どもの未来を考えるシンポ (11/11)



● 10分で駆け付けられるのか。
 ○ そう聞いています。▽ 施設外玄関場はどこか？
 ○ 未定。聞いていない。
 ● 無責任過ぎる。オーナーの出席を。
 ○ いい加減な進め方だとは私も思う。だから私が間に入ってまとめた。
 ● オーナーや管理者が出席し、再度説明会を。
 ※ 「小規模」とは、一組9人以内用の小さな施設のこと、市は、施設外玄関場でもいと、緩和している。